



# にじのはし幼稚園 園だより



令和4年5月号  
港区立にじのはし幼稚園  
園長 石川典子

園庭のソラマメは実をつけ始め、ジャガイモの葉が日に日に青々と茂っています。こいのぼりが元気に泳ぎ、保育室からは「♪やねよりたかい こいのぼり♪」と元気な歌声が聴こえてきます。

入園・進級から3週間が経ち、園児は新しい環境に少しずつ慣れてきています。

今月は、親子ピカピカデーや3年振りとなる幼小中合同大運動会が楽しみです。



にじのはし幼稚園はESD(持続可能な開発のための教育)に取り組んでいます。

## SDGs(持続可能な開発目標)

14(海洋資源) 海の豊かさを守ろう

15(陸上資源) 陸の豊かさを守ろう

世界は2030年までに、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、SDGsという17の目標を達成することを目指しています。

SDGs 17の目標の中でも上記の2つの目標を重点とし、ESD(持続可能な開発のための教育)を充実させていきます。

幼児期は生活の基本的態度や価値が形成される時期であるゆえに、幼児期からの取組が新たな価値観をもつ未来の担い手を育てることにつながっていきます。

本園では、発達段階や季節に合わせて、生き物との触れ合い、植物栽培や収穫、園庭の自然物の活用、近隣の公園やお台場ならではの海での自然体験や親子清掃活動などを工夫します。

日々の遊びや生活の中で、幼児が主体的に「体験」し、「発見」し、「学ぶ」体験を保障し、幼児の【気づき】を促します。

### 【自然体験からの気づき】

○生命の大切さや不思議さに気付く ○自然の大きさ・美しさ・不思議さなどに気付く ○地域の中での自然やそれに関わる人々に親しみをもつという他者との関わりに気付く

### 【社会体験からの気づき】

○生活の中で環境やその変化に気付く ○資源を大切にしようとすることに気付く

ESD(持続可能な開発のための教育)を通して、幼児が身近な環境に興味や関心をもつことを大切にし、自らよりよい生活をつくっていかようとする意識や自然を愛する気持ちや命あるものをおしむ気持ちを育みます。

